

ぽかぽかドキュメンテーション ～お泊り保育特別号～

令和2年8月4日
日出みみょう保育園



お部屋で話を聞いて、いよいよ出発！
きいくみさんやあかぐみさんがお見送りです。見送られるしろうぐみさんはなんだか誇らしげです。



始まりの式。理事長先生のお話もしっかりお顔を見て聞いています。体操座りも最後までかっこよかったです。



おまちかねのお昼ごはん！
おむすびの中身は唐揚げや卵焼きなど、子供たちが好きな具がたっぷり。どの子も愛情たっぷりのおむすびでした！もちろん子どもたちはペロリ！です。



フルーツポンチづくりでは、フルーツの一人分量をあえて伝えていませんでした。だけど、ちゃんとお友達のことを考えながら自分で量を調節しています。



子どもたちが工夫して作った段ボール。いざ滑ってみるとなかなかうまくいきませんでした。「寝ころがったらいいんじゃない？」
「草が短いところが滑るかも」と何度も繰り返し挑戦していました。

最初は少し怖かった滑り台やターザンロープもお友達と一緒に何回もチャレンジすると楽しくなりこの笑顔です。



自然の中、虫を探したり、お花を見つけたり、探検したり…。お友だちと「次は何をする？」と相談しながらあそびを見つけっていました。



キャンプファイヤーではくまのみらい保育園のお友だちと一緒にレクを楽しみました。初めて会うお友だちともすぐに仲良くなりました。

ぎりぎりまで行けるかどうか心配していたお泊り保育。無事に行けることができ本当に良かったです。保護者の方から離れてのこの一泊二日のお泊り保育の間、子供たちは自分で考え、自分のことは自分でしようとして、楽しいときは思いっきり楽しみ、お話を聞くときはしっかり聞くというメリハリをつけた行動をしたりなど、成長を感じる場面がたくさん見られました。また、次の行動がわからず困っている友だちに教えてあげたり、滑り台や急な階段など、怖がっているお友だちに優しく手を差し伸べてあげたりなどという場面がたくさん見られ、普段けんかも多いクラスですが、いざというときは助け合える、そんな関係性が育っているなと嬉しく思いました。子どもたちの成長がたくさん見られたとても嬉しい一泊二日。食事にとっても時間がかかる子がいるなど少し気になることもありましたが、これから就学までの期間で時間を意識して生活したり、友だちとの関係が深まるようなあそびを用意しながら、さらに自立心や人とかかわる力を深めていけるよう引き続き見守っていきます。急な決定にも関わらず、クラス全員の方が笑顔で送り出し、笑顔で迎えて下さったこと、本当に感謝しております。来年はきいくみさん！今から少しずつ自分のことは自分でできるよう見守っていただければと思います。